

資料 1 ヨハネの黙示録

- ・著者：使徒ヨハネ
- ・読者：アジアの7つの教会
- ・執筆年代：90年代前半
- ・文学類型：黙示文学（預言と手紙の要素も含む）
- ・主題：悪に対する神の究極的勝利
- ・特徴：旧約聖書からの引喩、象徴的言語の使用
- ・解釈：①過去主義 ②理想主義 ③歴史主義 ④未来主義

2 黙示文学

黙示とは、アポカルプシス 覆いを取る、隠されたことを明らかにする、啓示
終末論的予告（裁き、メシヤの出現）

夢、幻の多用

比喩、象徴的表現

歴史に対する神の主権

3 黙示録の構成

- ・見たこと 過去 イエスの姿 1章
- ・今あること 現在 7つの教会へのメッセージ 2～3章
- ・これから起こるべきこと 未来 さばきの連続 4～22章

4 壮大な神の物語

- ・神 エロヒーム 三位一体
- ・天地創造
- ・人間の創造
- ・サタンの反逆
- ・人間の墮落
- ・神の救いの計画
- ・ユダヤ人の選びと整え
- ・イエス・キリストの誕生、生涯、十字架、復活、昇天、即位、再臨の約束
- ・教会の誕生、使命、戦い、勝利
- ・神の裁き
 - ・封印 6～7章 戦争、飢饉、人災、混乱、死亡、殉教者
 - ・ラッパ 8～11章 患難期前半のわざわい
 - ・鉢 15～16章 患難期後半（大患難キ）の大災害 神の最終的な怒り
- ・神の完成
- ・神の国の成就 神と共に生きる 黙21章、22章